

〔巻頭言〕

開学40周年へ 「輝く女性育成」の取り組みと展望

輝く女性育成推進担当 亀田 多江

はじめに

本学は2020年4月に開学35周年を迎えた。そして2021年4月より開学40周年に向けた新たな取り組みとして、テーマ『女性（あなた）が輝く未来を拓く』を掲げ、とくに「輝く女性の育成」と「SDGs」の推進に、力を入れて取り組むこととなった。本学紀要53号発刊に寄せて、「輝く女性育成」の取り組みと展望について述べる。

創立者池田大作先生は、短大開学30周年に発刊した『創立の精神を学ぶ』（創価女子短期大学編）の特別寄稿において次のように語られた¹⁾。

二十一世紀は「女性の世紀」——。これは、私の人生を貫いてきた信念です。

世界には紛争や暴力、差別、貧困など、さまざまな課題が山積しています。（中略）今こそ、女性の持つ豊かな力が求められると確信します。

女性には生命を慈しみ、育む、妙なる母性があります。平和を愛し、調和を求める本然の智慧があります。偉大な女性リーダーが陸続と育つならば、人類社会はもっと人間性にあふれた平和と調和の社会、生命尊厳の精神が輝く社会へと発展していくに違いありません。

本学は創立者の期待にお応えすべく「女性の世紀」を切り開く使命を自覚し、

女性教育に力を入れて取り組んできた。今回の輝く女性育成推進においても、更に「偉大な女性リーダーを陸続と輩出」していく推進力となるように取り組むたいと決意している。

「輝く女性育成」の取組み

これまで「輝く女性育成」の取組みとして、次の3項目に力を入れてきた。

(1) 「女性としての生き方や働き方」を学ぶ機会の充実

本学は教育の特色として、正課の授業や課外でのセミナーを通して「女性としての生き方や働き方」を学ぶことを強みとしてきた。正課においては、地球市民教養科目と専門科目の両方に女性の視点から学べる科目（「地球社会と平和」「女性のための法律」「オフィスワーク」など）を設置してきた。課外の時間にもSLS（Student Life Support）セミナーで、女性として身に付けたい教養などを学ぶ機会（「女性のためのマナー講座」「女性のための健康セミナー」「差異や多様性を認め合える社会へ」など）を設けてきた。2021年度の本取組みにおいては、これらを更に充実できるように、まず学生が意識して履修し学べるように周知した。また、カリキュラムや授業内容の見直し充実を図った。更にSLSセミナーも内容を見直し充実を図った。今後も「女性としての生き方や働き方」を学ぶ機会をきめ細やかに設け、学生が見通しを持って社会で活躍していけるようにしていきたいと考えている。

(2) 「これからの社会と女性の活躍」について考える機会の提供

輝く女性育成推進の企画セミナーとして「これからの社会と女性の活躍」について考える機会を学生に提供してきた。社会の第一線で活躍している方を講師に迎え、社会の実情を踏まえながら、これから活躍する女性に必要な知見を語っていただくことで、学生が将来を意識しながら充実した短大生活を送っていけるように企画している。2021年度では、グローバルビジネスの第一線で活躍している女性リーダーに「これからの社会と女性の生き方」とのテーマで講演いただいた^[2]。更には「これからの社会と女性の働き方」をテーマに講演いただく予定である。今後も年に2回開催し、セミナーを通

して学生の視野を開き、充実した学びにつなげられるようにしていきたいと考えている。

（3）「創立者の講義やメッセージから女性の生き方を学ぶ」機会を拡充

開学時より創立者池田先生は短大生に多くの講義やメッセージを送ってこられた。その中には世界で活躍した女性リーダー（「マリー・キュリー夫人」「鄧穎超女史」「エレノア・ルーズベルト夫人」「ローザ・パークス女史」等）や小説（『女の一生』『愛の妖精』等）を通して女性の生き方について語ってくださっているものが多くある。これまで正課授業でもそれらの一部を学ぶ機会を設けてきたが、本取り組みにおいては、正課では扱っていなかった内容も含めて広く学ぶ機会を推進していくこととした。2021年度には「偉人に学ぶ女性の生き方」とのタイトルで、3回の勉強会・ワークショップを持ち、学生と教職員が共に学び語らう場としてきた^{[3][4]}。今後はそれらを踏まえた冊子の作成も予定している。また関連する講演会の開催も予定している。創立者の講義・メッセージを学び深められることが本学の特色であり、宝であることから、更に拡充していきたいと考えている。

「輝く女性育成」の展望

これまでの「輝く女性育成」推進の取り組みで印象深かったことの一つは、第2回「偉人に学ぶ女性の生き方」ワークショップで「ローザ・パークス女史」の生き方、本学創立者との歴史、また創価女子短期大学生との交流の歴史について学び語らったことである。アメリカの“公民権運動の母”と呼ばれるローザ・パークス女史が、1992年12月に人権セミナーの講師としてSULA（アメリカ創価大学ロサンゼルス分校、当時）に訪問した際、語学研修中の創価女子短期大学生との懇談会が行われた。女史はこの懇談を喜んでくださり、「彼女たちとの出会いは私の一生における新しい時代の始まりを象徴するように思えてならない」^[5]と語った。その後、1993年1月にSULAに来学中の創立者池田先生のもとにパークス女史が訪問され、『ローザ・パークス人道賞』を創立者に贈られた。その際の対談において、パークス女史は「きょう（池田SGI）会長にお会いしたことによって、「世界平和」への活動という新しい側面が、私の人生に開けてきたような気がします。私は「平

和」につくしたい。世界平和のために、会長と共に旅立ちたいのです。」^[5]と語られた。その後、1994年5月にローザ・パークス女史は来日され、創価大学・創価女子短期大学を訪問、講演会が開催された。ワークショップではこれらの歴史を学生たちが主体的に学び、発表をおこなった。参加学生は次の様に感想を述べている。「自分の信念を貫いておられたパークスさんを見習い、私も信念を持ち、自ら行動に移せるようになりたいと思いました。」「人生の生き方についても学べるワークショップだったと思います。「互いの相違を受け入れ、互いの共通点を見つけるといこと」を生活の中で意識してみたいと思いました。また、ローザ・パークスさんと創立者の出会いについて学び、パークスさん、創立者の心の温かさを改めて感じることができました。」^[4]このように本学では、創立者が拓かれた平和・文化・教育交流の中で女性リーダーから直に学ぶことができる、最高の女性教育の環境に恵まれてきた。またそこで得られた学びは、後世にも節目節目に伝えられている。

更に本学では、多くの世界で活躍する女性リーダーに来学いただき、講演していただく機会も得てきた。中でも開学35周年記念講演会として2019年11月にアフリカ・ウガンダ共和国の駐日特命全権大使であるベティ・グレイス・アケチ・オクロ大使に来学いただき「女性のリーダーシップ」とのタイトルで講演^[6]いただいた時の情景は、ひと際印象に残っている。講演会でメモを取りながら真剣な眼差しで拝聴する学生の姿、そして講演後の英語での質疑応答を通して、大使は最後に声高らかに「今日ここにいる皆さんの中から、女性リーダーが必ず出ると確信します」と会場の学生たちに期待の言葉を掛けてくださった。その場は決意溢れる学生と、大きな励ましを贈る大使の熱い思いが伝わり、感動の渦となった。

本学における女性教育は、人間教育を根幹とする創価教育の中で、伝統的に育まれてきた「父娘の絆」「姉妹の絆」「同期の絆」を糧に、人間同士のふれ合いで切磋琢磨し励ましを贈り合って、一人ひとりの学生の可能性を拓いてきた。

今、開学40周年に向けて、これまでの伝統を土台に、更に「輝く女性育成」の推進として上記3項目に力を入れて取り組み、創価女子短期大学の女性教育の新たなステージを築いていきたい。

将来的には、世界平和の道を切り開いて来られた創立者池田先生が創価女子短期大学に託して下さった女性教育への期待に大きく応えられるように、平和社会を築いていく女性リーダーを育成する「女性教育のモデル拠点」に本学がなっていくことを目指したい。誰一人取り残さない平和な社会をグローバルにそしてローカルに創造し展開していきける女性リーダーを輩出する教育環境を更に整備し、教育モデルとしてまとめていきたい。そして世界の女性教育に取り組む大学とネットワークを構築し、その主要拠点となっていきたい。そのためにも、これから更に世界の知性が積み上げた「女性教育」「女性のリーダーシップ」についての研究に学び、探求していくことが重要である。今後、本学内でそのような研究活動を活発化していく必要があると感じている。

おわりに

開学40周年に向けて「輝く女性育成」の取り組みをスタートさせた2021年は、新型コロナウイルス感染症大流行により世界的に困難な状況が続いている渦中であった。この2021年4月の本学入学式において、創立者池田先生は「危機の時代に挑戦し、人類の新生の飛翔をもたらすが、皆さんの使命です」^[7]と語られた。今、社会的にも女子短期大学を取り巻く環境は重ねて厳しい時でもある。しかし本学は、この危機の時代に「輝く女性の育成」に全力で取り組むことが、女性が輝く時代を拓き、それが社会の平和構築に大きく光を灯すことに繋がっていくと考えている。それが本学に頂いた使命と自覚し、全力で取り組んでいきたい。

謝辞

本原稿執筆にあたっては、水元昇学長、石井健司副学長にアドバイスを頂きながらまとめた。また、「SDGs」推進担当の青野健作准教授も含めた会議でのディスカッションの積み重ねから、本取り組みを推進してきている。何より本取り組みは本学教職員皆で力を合わせて推進しているものである。皆様の支援・ご尽力に心より感謝申し上げたい。

参考文献

- [1] 池田大作「特別寄稿 幸福の未来へ 共に舞いゆけ」、『創立の精神を学ぶ——創価女子短期大学編』pp.2-3、2016年2月。
- [2] 創価女子短期大学 HP「輝く女性育成推進企画セミナー①」、<https://www.soka.ac.jp/swc/news/2021/06/10523/>、2021年6月1日。
- [3] 創価女子短期大学 HP「第1回「偉人に学ぶ女性の生き方」勉強会を開催」、<https://www.soka.ac.jp/swc/news/2021/06/10501/>、2021年6月29日。
- [4] 創価女子短期大学 HP「第2回「偉人に学ぶ女性の生き方」ワークショップを開催」、<https://www.soka.ac.jp/swc/news/2021/08/10524/>、2021年8月27日。
- [5] 聖教新聞「SGI会長に「ローザ・パークス人道賞」を贈る」1993年2月1日付 1・3面。
- [6] 創価女子短期大学 HP「ウガンダ共和国の大使が本学で講演」、<https://www.soka.ac.jp/swc/news/2019/11/10254/>、2019年11月30日。
- [7] 聖教新聞「創価大学第51回・創価女子短期大学第37回入学式 池田先生のメッセージ」2021年4月3日付 3面。